

令和元年度 町政懇談会後の協議検討の結果などを紹介します (第2回)

広報誌12月号で、「令和元年度町政懇談会」で交わされた意見・要望を掲載しました。今月号では、懇談会後の協議検討の結果と12月号で掲載できなかった事項などについて最新の回答をご紹介します。

手段を失えば生活に困る。町はどんな対応を考えているか。

A 本年度から取り組み始めた地域コミュニティ形成事業で対応を模索している。高齢者から地域交通の充実を求める声が多いのは承知しているが、人材が足りない。まずは、問寒別地区で試験的な導入を行い、その後、幌延市街地区はハイヤーで、市街地区以外は地域交通による実施などの仕組みを検討している。

Q 役場の出入りは正面玄関に限られ、プライバシーの配慮が必要な相談者は入りにくい状態だ。せめて平日の職員勤務時間内は、職員玄関を開けられないか。

A 庁舎内の安全管理上、人員警備では可能だが、現状の機械警備ではセキュリティ上、困難と考える。ただ、来庁する日時を事前にお伝えしていただければ、担当職員が職員玄関に迎えに行く方法で対応している。

Q 高齢者の運転による死亡事故が全国で相次ぐ中、町内でも免許証返納を考える人が多いようだ。ただ、高齢者が返納によって移動

月17日)し、建設などの基準に道路法が規定する「道路から発電施設の最大の高さに相当する距離以上離れた場所に設置する」という要件を追加した。

Q 町内のアパートや一般住宅に空きがない。たとえあったとしても家賃が高く、公営住宅に入らざるを得ない。他町では民間の住宅物件を町が借り上げているところもある。

A 社員住宅を建てるための補助制度をつくったが利用がほとんどない。住宅を増やすための制度設計を検討したい。

Q 幌延はバイオマス事業に関わる国の指定を受けたが、その後進展はあったか。

A 酪農家を対象に、9月に幌延地区で、10月に問寒別地区でバイオガスプラント調査事業に係る説明会をそれぞれ開催した。そこで

昨年度の調査事業の成果と今年度実施調査事業の内容を説明した。今年度は主に酪農家へのヒアリング調査と小規模プラント基本設計図の作成を進めている。

Q 町中でごみ拾いのボランティアをしているが、特に元町や幌延小学校前の交差点でごみが目立つ。火のついたタバコも落ちており、火事が心配。町主催の清掃活動では足りない。

A 年2回実施する町主催のフライング作戦は、他事業とのタイアップのため増やすことができない。不法投棄も散見していることから、広報誌や告知端末機で周知・啓発する。のぼりや看板の設置も検討したい。

Q 問寒別でクマの出没が多く、保育所裏でも出た。警察には散歩も止められている。何か手立てはないか。

A 11月14日、市街地付近に出没していたとみられる3歳の雄クマを捕獲し、駆除した。

Q 市街地の道路・歩道の未整備箇所の状態が悪く、目の悪い人や高齢者は歩けないほどだ。町と町民個人の土地が混在する道路もあるようだが、早急な対応をお願いしたい。

A 町全体の道路事業補修計画について協議を進め、検討したい。

Q 北星園の方から流れてくる川で、中流から下流にかけて砂がたまっている。そのせいで大雨になった時に川から水が溢れ、畑が冠水した。対策をとってほしい。

A 町が管理する河川の上流域は、来年度以降、排水路整備を実施する予定。道が管理する河川の下流域については、道と協議済み。